

平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援  
審査結果表

|     |                                      |      |      |
|-----|--------------------------------------|------|------|
| 大学名 | 芝浦工業大学                               | 申請区分 | タイプB |
| 構想名 | 価値共創型教育を特徴とする理工系人材育成モデルの構築と世界の発展への貢献 |      |      |

〔評価コメント〕

本構想は、貴学のこれまでの実績と経験をもとに、10年後の大学の姿を明確に示し、世界に貢献できる実践型理工系人材の育成のための価値共創型教育を、東南アジアを中心とした国際的な大学間ネットワークの構築とガバナンス改革と教育改革を通じて推進、実現しようとする取組であり評価できる。特に、PDCA サイクルを通じて、学修並びに教育の質保証を伴う「価値共創型教育」の確立を目指している点は高く評価できる。

また、トップダウンとボトムアップ並びに教職学協働の効果的な組み合わせにより、迅速な意思決定を実現することなどを通じて「世界水準の大学制度」の実現を目指していることも、大学を取り巻く環境の変化への適切な対応と言える。全体として、先導的で大学の特色を活かした優れた取組であり、理工系大学のモデルとなるべき取組である。

一方で、全てにわたって意欲的な構想であることは評価できるが、それを実現する体制整備、あるいは達成目標の実現には更なる学内での検討が必要と思われる。特に、大学間協定に基づく受入外国人留学生数を現時点の72人から2,360人へと大幅に増加させる目標に加え、単位取得を伴う海外留学経験者に関しては、10年後に全学生とする達成目標について、資金面や支援体制を含めその実現には検討が必要である。

また、構想自体は極めて先導的で特色ある取組となっていることから、学長のリーダーシップの下、本構想の全面的な実現に向けて努力されることが望まれる。

最後に、今回「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された貴学におかれては、10年後の大学の姿を見据え、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国の高等教育の国際競争力の向上に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。